

88 投稿

岐阜県下脳卒中高死亡率地域および対照地域における 生活習慣等の地域差に関する検討

森 洋隆*¹ 田中 耕*² 児玉 文夫*⁴ 高橋 稔明*³ 井口 恒男*⁵

I はじめに

厚生省では昭和40年から5年ごとに地域別生命表を作成し発表している。それによると、岐阜県の平均寿命全国順位は表1に示すごとく、昭和40年および昭和45年では男性上位、女性中位と、女性は全国の平均的水準にあった。しかしながら昭和50年以降、男性は上位のままであるのに対し女性の順位が40位に急落し、その後、平成7年に至っても40位付近に低迷している。

平均寿命は年齢別死亡率によって決まる値であるから、昭和50年以降、岐阜県女性の死亡状況に大きな変化があったことが推測される。

このことに関連して三徳ら¹⁾は、岐阜県内における平均余命の地域差を調べ、特に女性の平均余命の小さい6地域（岐阜市、関市、羽島市、美濃加茂市、大垣および郡上保健所管内）における主要死因のSMRおよび過剰死亡数等を用いてその要因を検討している。

その報告によると、岐阜県の全死因過剰死亡数は567.3で、そのうち脳血管疾患に由来するも

のは395.2と過剰死亡数の約70%を占め、また、女性の平均寿命が全国値に対し有意に低い地域は、西濃地域を中心に岐阜地域、中濃地域、および東濃地域の一部であった。

筆者らは、平均寿命の全国順位における岐阜県男女の格差要因を明らかにするために、平成7年に記述疫学的調査を行い、女性の平均寿命が短いことに最も関連の深い疾病は脳卒中であり、特に65歳以上の年齢階級における高死亡率が関与している可能性が高いことを報告した²⁾³⁾。また、脳卒中SMRを計算し、岐阜県女性の脳卒中死亡の地域集積性は大垣、羽島保健所管内の、いわゆる西南濃地域において高いことを明らかにした。

平成8年には、脳卒中高死亡率地域である西南濃地域において、女性を対象に脳卒中死亡者をケース、脳卒中以外の死因による死亡者をコントロールとして生前の生活習慣、既往症等に関する患者対照研究を行い、脳卒中高死亡率地域における女性の脳卒中死亡の最強のリスクファクターは高血圧既往であることを認めた。

そこで筆者らは患者対照研究の結果を踏まえ、「脳卒中高死亡率地域では高血圧を保有する人が多い」との仮説を検証すべく、脳卒中高死亡率地域（高率地域）および低死亡率地域（対照地域）の住民を対象に生活習慣、既往症等に関するアンケート調査を行ったので、その結果を報告

表1 平均寿命全国順位の年次推移（岐阜県）

	昭和40年	45	50	55	60	平2	7
男	5 (68.90) [67.74]	5 (70.69) [69.84]	9 (72.18) [71.79]	9 (74.13) [73.57]	7 (75.53) [74.95]	3 (76.72) [76.04]	7 (77.17) [76.70]
女	20 (73.03) [72.92]	27 (74.96) [75.23]	40 (76.41) [77.01]	39 (78.47) [79.00]	39 (80.31) [80.75]	41 (81.69) [82.07]	37 (83.00) [83.22]

注 () 内は岐阜県、[] 内は全国の平均寿命

* 1 岐阜県保健環境研究所専門研究員

* 4 現岐阜県伊奈波保健所試験検査課長

* 2 同主任専門研究員

* 5 現岐阜県知事公室参与

* 3 同部長研究員

する。

II 調査対象および方法

(1) 調査地域

西南濃地域において平成7年における脳卒中SMRの高い次の5町を一括して高率地域とした：上石津町、海津町、墨俣町、岐南町、笠松町。また、高率地域に近く男女とも脳卒中SMRの低い美濃市を対照地域とした。

(2) 調査対象数および抽出法

調査数は高率地域、対照地域とも男女各260例とし、高率地域の各町の調査数は各町の人口規模に応じて定めた。また、60代、70代の調査数は平成7年の岐阜県年齢別人口における60代、70代の人口比率に従って定めた(表2)。調査対象の抽出は住民基本台帳を用い、調査地域における60代、70代の男女を層化して無作為に抽出した。また、表2にアンケート回収率を付記した。

表2 調査対象数

	男			女		
	総数	60代	70代	総数	60代	70代
高率地域						
総対象数	260	164	96	260	162	98
回答数	217	130	87	235	149	86
(回収率%)	(83.5)	(79.3)	(90.6)	(90.4)	(92.0)	(87.8)
上石津町						
対象数	39	25	14	37	23	14
回答数	39	25	14	37	23	14
(回収率%)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
海津町						
対象数	55	34	21	56	35	21
回答数	44	28	16	42	28	14
(回収率%)	(80.0)	(82.4)	(76.2)	(75.0)	(80.0)	(66.7)
墨俣町						
対象数	21	13	8	21	13	8
回答数	18	10	8	21	13	8
(回収率%)	(85.7)	(77.0)	(100)	(100)	(100)	(100)
岐南町						
対象数	61	39	22	58	36	22
回答数	45	26	19	50	32	18
(回収率%)	(73.8)	(66.7)	(86.4)	(86.2)	(88.9)	(81.8)
笠松町						
対象数	84	53	31	88	55	33
回答数	71	41	30	85	53	32
(回収率%)	(84.5)	(77.4)	(96.8)	(96.6)	(96.4)	(97.0)
対照地域						
美濃市						
対象数	260	164	96	260	164	96
回答数	217	138	79	209	131	78
(回収率%)	(83.5)	(84.1)	(82.3)	(80.4)	(79.9)	(81.3)

(3) 調査方法

生活習慣、既往症等のアンケート調査を郵送法により行った。

稿末にアンケートの質問票をそのまま掲げた。質問票には本人が記入すること、本人が記入できない場合には家族が本人に直接尋ねて、その結果を記入するよう、明記して依頼した。得られた質問票の結果を集計して、高率地域と対照地域における地域間の要因保有率について、2群の比率の差の検定⁴⁾を行い、どのような要因に差がみられるかを性別に分析した。

III 結 果

(1) 要因保有状況

高率地域および対照地域における要因保有状況を表3に示した。

要因区分における各カテゴリーは、“ふとりぎみ”には“ふとりすぎ”を含まないように、それ以上のもの、あるいはそれ以下を含まない。また、欠損値(分からない、無回答)を含むものについてはそれを除外して比率の差を調べた。

高率地域の女性は対照地域に比べて太りぎみの人が多かった。

高率地域の男性は対照地域に比べて自営業が少なく、会社員・公務員等の勤め人が多かった。また、女性では会社員・公務員等は対照地域の方が多かった。製造業は対照地域の男性の方が多く、農業は高率地域の女性が対照地域に比べて多かった。

収入になる何らかの仕事をしている人は、男女とも対照地域の方が多かった。

血圧測定を家庭で実施していると回答した女性は高率地域の方が少なかった。

「あなたの血圧は今まで正常でしたか」の問い(① 正常だった ② 高かった ③ 低かった(低すぎた) ④ 分からない)に“高かった”と答えた人(高血圧者)について、降圧剤の服用状況(① 毎日きちんと服用している ② 服用し

ているが、たびたび中断する ③ 降圧剤は服用していない)を質問した。高血圧者のうち、降圧剤を毎日きちんと服用している女性は、高率地域の方が少ない結果を示した。また、降圧剤を服用していない女性は高率地域の方が多かった。一方、男性は服用の状況に地域間の差が認められなかった。

定期的に健康診断を受けている男性は高率地

域の方が多かった。

女性で酒を“たまに飲む”人は高率地域の方が多い結果を示した。

“大豆製食品を週3回以上食べる”と答えた女性は高率地域の方が少なかった。また、1日に1回は油を用いた料理をすると答えた女性は、高率地域の方が少なかった。

表3 地域間の要因保有状況

(単位 % (要因保有率))

要 因 区 分	男		女	
	高率地域	対照地域	高率地域	対照地域
体型 ・ ふとりぎみ	24.0	20.3	28.5	18.2*
職業 ・ 自営 (農業) (製造業) ・ 会社員等の勤め人	40.5 < 51.1* 15.6 9.2 12.4 < 21.2* 54.4 > 43.8*		33.2 30.2 15.7 > 7.2** 8.5 14.8 16.2 < 25.8*	
内職、パート(専業主婦) 収入になる仕事(現在) 経済状況(40才まで、40才以降)	・ している ・ している ・ 悪かった	51.2 < 62.2* 17.1 19.4	55.7 58.8 34.0 < 47.8** 23.8 21.6	
脳卒中既往(家族) ・ なし 高血圧既往(家族) ・ なし 高血圧保有状況(本人) ・ あり 血圧管理(家庭での血圧測定) ・ している 血圧管理(食事の減塩) ・ している ☆ 血圧管理(降圧剤の服用) ・ 毎日きちんと服用している ☆ ・ 服用しているがたびたび中断する ☆ ・ 服用していない ☆ 血圧管理(通院、治療) ・ している ☆	73.0 78.1 69.4 70.6 31.0 34.4 19.4 26.3 48.8 53.9 75.4 72.6 10.8 9.6 13.8 17.8 88.3 89.6		75.0 74.5 70.4 71.5 34.6 40.8 18.7 < 31.1** 63.4 66.0 62.5 < 78.0* 10.0 11.0 27.5 > 11.0* 86.5 90.0	
持病の有無 医療状況(医師、病院へのかかり易さ) 医療状況(健康診断を定期的に受けている)	・ なし ・ かかり易い ・ はい	50.7 51.6 91.7 93.1 86.6 > 76.0**	64.6 64.6 94.0 96.2 78.3 74.6	
喫煙の有無 飲酒の有無	・ 吸っている ・ たまに飲む	42.4 44.3 22.6 16.1	3.8 5.8 20.9 > 12.9*	
何らかの運動をしているか 睡眠の程度 休息の程度 ストレスの意識程度	・ していない ・ よく眠れる ・ 十分とれている ・ ほとんど感じない	54.5 51.2 65.0 66.8 65.0 66.8 51.6 48.4	48.1 50.3 53.2 54.5 63.0 65.1 40.0 34.9	
食事の摂取量 食事の味付けの好み 味噌汁嗜好程度 多塩食品嗜好程度 多脂食品嗜好程度 甘味品嗜好程度	・ 腹八分目に食べる ・ 濃い味付けを好む ・ 好きでよく飲む ・ 塩辛いものを好む ・ 脂っこいものを好む ・ 甘いものを好む	63.1 63.1 34.6 35.9 81.1 81.1 39.2 36.4 24.9 26.7 48.8 47.9	68.5 68.4 19.6 19.1 75.3 72.7 21.7 17.2 10.2 9.2 50.2 52.6	
食品摂取状況 ・ 肉 (毎日食べる) ・ 魚 (毎日食べる) ・ 卵 (毎日食べる) ・ 牛乳 (毎日飲む) ・ 果物 (毎日食べる) ・ お茶 (毎日飲む) ・ 海藻 (週3回以上食べる) ・ 濃色野菜 (毎日食べる) ・ 淡色野菜 (毎日食べる) ・ 菓子類の間食 (毎日食べる) ・ 大豆食品(週3回以上食べる) ・ 脂を使う料理(一日に1回は食べる)	20.9 16.1 38.4 42.0 41.1 43.6 50.7 54.9 53.6 60.6 87.3 87.2 71.7 76.6 56.3 61.0 69.0 74.9 41.3 39.0 80.6 87.8 34.0 38.1		12.2 12.6 39.1 42.3 45.0 44.0 58.7 59.0 69.7 72.1 84.8 89.1 74.0 79.7 66.4 72.3 75.2 82.3 45.9 50.5 79.8 < 88.9* 34.5 < 49.0**	

注 1) ☆: 高血圧者への質問
2) *: P<0.05 ***: P<0.01

(2) 年代別保有状況

表3に示した要因のうち、地域間に差がみられた項目について60代、70代で要因保有状況がどのように異なるかを調べ、表4に示した。

男性では対照地域で今まで最も長く従事した職業のうち、自営業、会社員等に年代間の差がみられ、自営業では70代の、会社員等では60代の保有率が高かった。

「現在収入になる仕事をしている」では対照地域、高率地域とも差があり、60代が70代より保有率は高かった。

女性では「家庭で血圧を測定している」に年代間の差がみられ、対照地域の60代が70代よりも高かった。また「現在収入になる仕事をしている」では男性と同じ傾向であり、両地域とも60代の方が保有率が高かった。

(3) 体型と高血圧保有状況

体型と高血圧保有とは関連があると考えられたので、体型別高血圧保有状況を調べて図1に示した。

女性では両地域とも“ふとりぎみ”、“ふとりすぎ”

の体型における高血圧保有率が高かった。男性は対照地域の“ふとりすぎ”に高血圧保有者はいなかったが、全体の傾向として女性と同じような傾向が窺われた。

(4) 市町村の農用地面積保有状況と女性の脳卒中との関連

平成7年に市町村別40歳以上女性の脳血管疾患SMRが計算されていたので³⁾、県下99市町村別40歳以上人口千人当たりの農用地面積を降順に並べ、原則として上位30位を多群、31～68位

表4 年代別要因保有状況

(単位: % (要因保有率))

要因区分	性別	地 域	60代	70代	
体型 ふとりぎみ	女	高率地域	32.9	20.9	
		対照地域	16.8	20.5	
職業 自営業	男	高率地域	36.2	47.1	
		対照地域	45.7	60.8	*
(農業)	女	高率地域	15.4	16.3	
		対照地域	4.6	11.5	
(製造業)	男	高率地域	10.8	14.9	
		対照地域	17.4	27.8	
会社員等	男	高率地域	58.5	48.3	
		対照地域	49.3	34.2	*
	女	高率地域	14.1	19.8	
		対照地域	24.4	28.2	
何 ら か の	男	高率地域	64.6	31.0	**
収入になる仕事		対照地域	71.0	46.8	**
をしている	女	高率地域	45.0	15.1	**
		対照地域	56.5	33.3	**
家庭で血圧を	女	高率地域	21.5	14.0	
測定している		対照地域	38.2	19.2	**
高血圧剤は毎日き	女	高率地域	18.1	26.7	
ちんと服用している		対照地域	28.2	34.6	
健康診断を定期的	男	高率地域	85.4	88.5	
にうけている		対照地域	73.9	79.7	
飲酒 たまに飲む	女	高率地域	23.5	16.3	
		対照地域	14.5	10.3	
週に3回以上	男	高率地域	79.2	81.6	
大豆食品を		対照地域	87.0	84.8	
食べる	女	高率地域	80.5	76.7	
		対照地域	90.8	83.3	
一日に1回は油を用いた	女	高率地域	32.2	36.0	
料理を食べる		対照地域	47.3	47.4	

注: * $P < 0.05$, ** $P < 0.01$

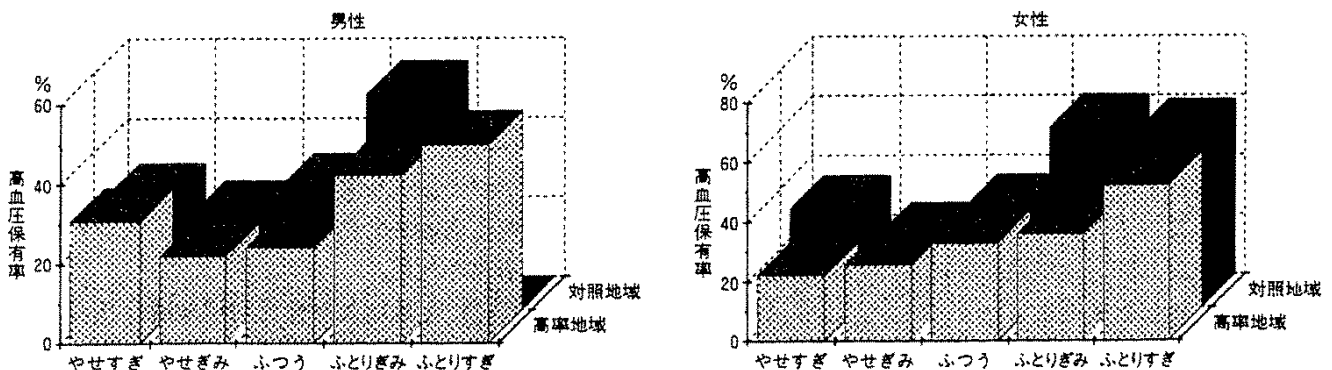
IV 考 察

今回の調査で最も注目した高血圧保有率は男女とも両地域間に有意の差が認められず、仮説とは異なる結果が得られた。しかしながら、女性の場合、家庭で血圧測定をしている人は対照地域の方が多く、また、高血圧者のうち降圧剤を毎日きちんと服用している人は対照地域の方が多いのに対し、降圧剤を服用していない人は高率地域の方が多いなどの、血圧測定、降圧剤の適正な服用等の血圧管理の状況に地域間の差が認められた。一方、男性では差が認められなかった。

従って、女性では高率地域の方が対照地域よりも血圧の管理が劣ると推察され、このことが女性の脳卒中発症に関わっている可能性があり、小町ら⁹⁾が指摘しているように血圧管理の重要性が示唆された。

血圧及び脳卒中に関連があると考えられる肥満^{7)~9)}については女性では地域間に差が認められ、高率地域のほうが多かった。そこで、肥満のカテゴリー別の高血圧保有状況を調べたところ、「やせすぎ、やせぎみ、ふつう、ふとりぎみ、ふとりすぎ」のうち、女性の高血圧保有率は“ふとりぎみ”、“ふとりすぎ”に偏って高い

図1 体型別高血圧保有率



分布を示した。また、男性も全体の傾向として女性と同じような傾向が窺われ、男女とも“ふとりぎみ”以上の肥満は高血圧との関連が深いと考えられた。また、高率地域における“ふとりぎみ”では、有意ではないが年代間にかなりの差があり、60代に高率であることも予防上注目される。

最近では高血圧の背景因子も食塩から肥満へと移行してきたともいわれ¹⁰⁾、また、近年では栄養摂取量の増加が脳卒中発症の新たな危険因子になりつつあるという豊嶋ら¹¹⁾の示唆もあり、肥満の改善は地域住民の高血圧予防、延いては脳卒中の予防に有効と推察される。

農業に従事する者の比率は地域間に差があり、女性では高率地域が対照地域に比べて高い結果を示した。また、表5に示したように、脳出血、脳血管疾患SMRは農用地面積の多い群ほどSMRが高い傾向が窺われている。

このように農用地面積の多い地域ほど女性の脳卒中SMRに高い傾向が窺われること、また、今回の調査で脳卒中高死亡率地域の女性は対照地域に比べ農業従事者率が高く、地域間に差がみられたことから、女性が農業に携わることと脳卒中死亡とは何らかの関連があるように思われる。

収入になる仕事では地域間に差があり、男女とも高率地域は対照地域よりも収入になる仕事をしている人が少ない結果であった。また、男女および両地域の保有率に年代差があり、60代の方が70代よりも高率であるが、これは70代の方がより老化が進み、体力、作業能力が劣るためと考えられる。

ふだん何らかの軽微な仕事をして体を動かしていることは、脳卒中等の予防につながるとの報告があり¹²⁾¹³⁾、対照地域の方が何らかの仕事をしている人が多いことと一致している。

健康診断を定期的に受けている人は高率地域の男性は対象地域よりも多いが、これは高率地域の男性は会社員等の勤め人が対象地域より多

表5 農用地面積保有状況と40歳以上岐阜県女性の脳卒中SMR

保有状況	地域数	脳卒中SMR			
		脳血管疾患	脳出血	脳梗塞	その他の脳血管疾患
農用地面積 多	30	126.7	140.3	117.5	135.4
中	38	122.8	126.8	117.6	130.7
少	31	113.1	110.6	109.4	123.0

注 * P<0.05 ** P<0.01

く、職場で健康診断を受けているためと考えられる。

大豆食品摂取頻度および油を用いる家庭料理頻度は高率地域の方が少なかったが、このことと血圧上昇との関連は明確ではない。

調査方法を吟味すると、調査数の小さな地域については、大きな地域よりも葉書による督促、アンケート票の再送付等回収により努めたが、これは地域によって若干調査法が異なることに繋がり、比較に問題を生じさせたかもしれない。また、高血圧の保有状況は、高齢である対象者の過去における血圧測定結果等の記憶に基づいており、調査時点で計測されたものではない。そのため血圧は正常と答えた者の中に、治療によりコントロールされている高血圧者が含まれ、高血圧に分離されていない可能性も考えられる。高齢者に対するアンケート調査では、この種の懸念が払拭されにくく、今回の調査の問題点と言えよう。

V ま と め

岐阜県女性の脳卒中高死亡率地域（5町）および対照地域（1市）の住民を対象に生活習慣、既往症等のアンケート調査を行い、地域間差を検討した。

・高血圧の保有状況は男女とも地域間の差が認められなかった。しかしながら女性の場合血圧測定、降圧剤の適正な服用等の血圧管理状況が脳卒中高死亡率地域で劣っており、血圧管理の重要性が示唆された。

・脳卒中高死亡率地域の女性は対照地域に比べ、“ふとりぎみ”の人が多く、農業に従事する

人が多いこと、なんらかの仕事をしている人が少ないこと、大豆食品および油を用いる料理が少ないことなどが明らかになった。

謝辞

稿を終えるにあたり、調査に必要な住民基本台帳の電算機出力等にご協力いただきました上石津町、海津町、墨俣町、岐南町、笠松町、美濃市の関係者の方々、そしてご助言、ご指導等を賜りました大垣保健所、羽島保健所、岐阜大学医学部衛生学教室および公衆衛生学教室の諸先生に深謝いたします。

文献

- 1) 三徳和子, 他: 岐阜県における平均余命の地域差に関する検討, 日本公衛誌, 32(10), 648-653, 1985
- 2) 森 洋隆, 他: 岐阜県女性の平均寿命に関する一考察, 厚生指標, 36(2), 21-25, 1989
- 3) 森 洋隆, 他: 岐阜県女子成人病死亡率と平均寿命との関連性について, 岐阜県保健環境研究所報, 3, 6-9, 1995
- 4) 小野寺孝義, 他: データ解析ミニマムエッセンス, SPSSで学ぶ統計手法, ナカニシヤ出版, 1996
- 5) 福富和夫, 他: 標準化死亡率に関する考察, 日本公衛誌, 36(3), 155-160, 1989
- 6) 小町喜男, 他: 脳卒中, 医学のあゆみ, 110(13), 879-887, 1979
- 7) 小林修平: 肥満と日常の身体活動が血圧に及ぼす影響, 医学のあゆみ, 153(13), 746-747, 1990
- 8) 土橋卓也, 他: 生活諸要因と血圧管理, 臨床と薬物治療, 7(6), 708-712, 1988
- 9) 深瀬 治, 他: 兵庫県下某地区における肥満の高血圧への寄与危険度について, 兵庫県衛生研究所研究報告, 23, 27-31, 1988
- 10) 田中平三, 他: 地域を基盤とした脳卒中・虚血性心疾患の予防対策とその評価, 日本公衛誌, 41(10), 45, 1994
- 11) 豊嶋英明, 他: 脳卒中, 心筋虚血の発症に対する血清脂質と肥満の役割の近年の推移, 日本公衛誌, 35(10), 549-555, 1988
- 12) J. T. Salonen, et al: Physical Activity and Risk of Myocardial Infarction, Cerebral Stroke and Death, Am. J. Epidemiol., 115(4), 526-537, 1982
- 13) 内藤義彦, 他: 身体活動が検診成績および循環器疾患の発症, 総死亡に及ぼす影響に関する追跡研究, 厚生指標, 44(13), 3-9, 1997

付表 日常生活習慣病(成人病)予防のためのアンケート調査

問1 あなたの性別は 1 男 2 女 問2 あなたの年齢階級は次のうちどれですか。 1 60～64歳 2 65～69歳 3 70～74歳 4 75～79歳 問3 あなたは次のうちどれにあてはまりますか。 1 やせすぎ 2 やせぎみ 3 ふつう 4 ふとりぎみ 5 ふとりすぎ 問4 あなたが今までに最も長く従事した仕事(職業)は次のうちどれですか。 1 自営 →問4の1へ 2 会社員・公務員等(常勤) →問4の2へ 3 専業主婦 →問4の3へ 4 その他 () 問4の1 自営とは次のうちどれですか。 1 農業(・専業・兼業) 2 商業 3 製造業 4 販売・サービス業 5 その他 問4の2 会社員(常勤)等の内容は次のうちどれですか。 1 事務系 2 製造系 3 販売・サービス業系 4 その他 問4の3 専業主婦のほかにパートとか, 内職または家業の手伝いなど過重に仕事をしていましたか。 1 はい 2 いいえ 問5 現在, あなたは収入になる仕事をされていますか。次のうちどれにあてはまるか選んでください。 1 している →問5の1, 問5の2へ 2 していない 問5の1 その仕事はどのような仕事ですか。 1 主に座ってする仕事 2 主に立ち仕事 3 主に力仕事 又は歩き仕事	問5の2 1週間の勤務日数はどれくらいですか。 1 3日以内 2 4日 3 5日 4 6～7日 問6 あなたの今までの経済状況(収入等)は, 次のうちどれですか。イ, ロについて, それぞれお答えください。 イ 40歳ころまでの収入は 1 よかった 2 ふつう 3 悪かった ロ 40歳以降からの収入(現在も含めて)では 1 よかった 2 ふつう 3 悪かった 問7 あなたのご両親, ご兄弟・姉妹(血族)のうち, 脳卒中で亡くなられた方, または現在, 脳卒中で治療中の方がいらっしゃいますか。 1 なし 2 両親とも 3 父または母 4 兄弟・姉妹 問8 あなたのご両親, ご兄弟・姉妹(血族)のうち高血圧だった方, または現在, 高血圧の治療を受けている方がいらっしゃいますか。 1 なし 2 両親とも 3 父または母 4 兄弟・姉妹 問9 あなたの血圧は今まで正常でしたか。 1 正常だった 2 高かった 3 低かった(低すぎた) 4 わからない 問10 あなたの最近の血圧がわかっているならば, 下の()にご記入ください。 (上: mmHg 下: mmHg) 問11 あなたの血圧管理の状況について, つぎのイ～ホについて, それぞれお答えください。 イ 血圧を家庭で測定していますか。 1 はい 2 いいえ ロ 減塩など, 食事に注意していますか。 1 はい 2 いいえ
--	--

- ハ 高血圧の人は、いつ頃から高血圧になりましたか。
 1 20代から 2 30代から 3 40代から
 4 50代から 5 60代以降
- ニ 高血圧の人は、降圧剤を服用していますか。服用状況は次のうちどれですか。
 1 毎日きちんと服用している
 2 服用しているが、たびたび中断する
 3 降圧剤は服用していない
- ホ 高血圧の人は、高血圧症の診察・治療に定期的に通院していますか。
 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問12 あなたは次に示す病気のうち、どのような持病がありますか。
 1 心臓病 2 糖尿病 3 肝臓病 4 結核
 5 通風 6 その他 ()
 7 なし

問13 あなたは病気のとき、すぐに医師の診察・治療を受けることができますか。
 1 できる
 2 できない → 問13の1へ

問13の1 できない主な理由を次のなかから1つ選んで下さい。
 1 仕事など忙しくて、なかなか医者にかかれ
 2 近くに医院・病院がないので、なかなか行けない
 3 経済的に負担が大きいので、かかりにくい
 4 医者が嫌い、なかなか行く気にならない
 5 一人で行けない(介添えの人が必要)ため、かかりにくい
 6 その他 ()

問14 あなたは健康診断を定期的に受けていますか。
 1 受けている
 2 受けていない → 問14の1へ

問14の1 健康診断を定期的に受けていない主な理由を次のなかから1つ選んで下さい。
 1 あまり関心がないから 2 交通が不便だから
 3 忙しいから 4 その他 ()

問15 たばこを吸っていますか。
 1 吸ったことがない 2 やめた
 3 吸っている → 問15の1及び問15の2へ

問15の1 1日におよそ何本くらい吸いますか。
 1 10本未満 2 10～20本 3 21～30本
 4 31本以上

問15の2 たばこを吸い始めて何年くらいになりますか。
 1 20年未満 2 20～39年 3 40年以上

問16 飲酒の習慣がありますか。
 1 飲まない 2 たまに飲む 3 週1～2回
 4 週3～5回
 5 毎日飲む → 問16の1へ

問16の1 1日に飲む量はどのくらいですか(ビールなら大びん1本、ウイスキーならダブル1杯が日本酒一合とお考えください)
 1 1合未満 2 1～2合 3 3～4合
 5 5合以上

問17 現在、習慣にしている運動がありますか。
 1 なにもしていない
 2 散歩等の歩行
 3 ジョギング
 4 運動器具(自転車、ボート漕ぎ等)を使う
 5 その他 ()

→ 問17の1へ

問17の1 どの程度その運動をしていますか。

- 1 毎日 2 週2～3回
 3 週4回以上

問18 あなたはよく眠れますか。
 1 よく眠れる 2 眠れないことがある
 3 いつも不眠がちである

問19 あなたは休息が充分とれていますか。
 1 充分とれている 2 時々不足になる
 3 ほとんどとれない

問20 あなたは日常の生活のなかでストレスと不安感を感じていますか。
 1 ほとんど感じない 2 時々感じる
 3 感じるが多い → 問20の1へ

問20の1 それは主にどのようなことに感じますか。
 1つ選んでください。

- 1 家庭での人間関係 2 近所付き合い
 3 経済問題 4 仕事上の問題
 5 職場での人間関係 6 健康問題
 7 その他 ()

問21 あなたの食事のとりかたは次のうちどれですか。
 1 満腹まで食べる 2 腹八分目に食べる
 3 小食なほう

問22 あなたの食事の味付けの好みは次のうちどれですか。
 1 濃い味付けを好む 2 薄い味付けを好む
 3 どちらともいえない

問23 どちらかといえば塩辛いものが好きなほうですか。
 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問24 どちらかといえば油っこいものが好きなほうですか。
 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問25 どちらかといえば甘い物が好きなほうですか。
 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問26 つぎの食品(イ～オ)の摂取状況は次のうちどれですか。

- イ 毎日、肉を食べている 1 はい 2 いいえ
 ロ 毎日、魚を食べている 1 はい 2 いいえ
 ハ 毎日、卵を食べている 1 はい 2 いいえ
 ニ 毎日、牛乳を飲んでいて 1 はい 2 いいえ
 ホ 毎日、果物を食べている 1 はい 2 いいえ
 ヘ 毎日、お茶をよく飲む 1 はい 2 いいえ
 ト 1週間に3回以上、こんぶ・わかめ・のりなどの海藻を食べている 1 はい 2 いいえ

チ 毎日、にんじんやほうれんそうなど色の濃い野菜を食べている 1 はい 2 いいえ

リ 毎日、キャベツや大根・白菜など色のうすい野菜を食べている 1 はい 2 いいえ

ヌ 1週間に3回以上、納豆や豆腐など大豆製品を食べている 1 はい 2 いいえ

ル 油を使った料理を1日1回は食べる 1 はい 2 いいえ

オ 毎日、菓子などを間食する 1 はい 2 いいえ

問27 味噌汁が好きでよく飲みますか。
 1 はい → 問27の1へ
 2 いいえ

問27の1 味噌汁を1日(朝、昼、晩)に合計何杯くらい飲みますか。
 1 1～2杯 2 3杯 3 4杯以上